



ひすい

糸魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより 7月号 (No.4)

令和6年7月23日発行

4月10日(水)の始業式から7月23日(火)まで71日間の1学期が終了しました。保護者・地域の皆様のご支援により、児童生徒が着実に学習を行うことができました。これもひとえに皆様のご協力のおかげです。本当にありがとうございました。



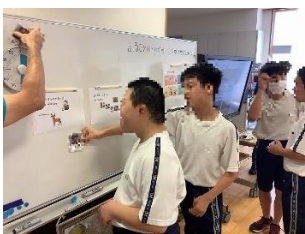
小・中学部の教育活動



小学部では、6月20日(木)に相撲教室を実施しました。糸魚川市は、五月場所で幕内優勝した大の里さんが、中高校時代を過ごした相撲を大切にする地域です。講師に、大学時代に大の里さんと一緒に練習をされた寺尾拓真さん(新潟県スポーツ協会・育成指導員)にお越しいただきました。当日は、体育館にマットの土俵が用意され、準備体操を入念に行い相撲の心得(「元気な挨拶」「元気な返事」の大切さ)などを教えていただきました。その後、児童と寺尾さんとの相撲体験となりました。児童は、土俵に入る前にお教えいただいた挨拶と姿勢を行い、元気に相撲を体験しました。最後は、図工で作った自分用の化粧まわしをつけて記念撮影を行いました。



中学部では、6月28日(金)に生徒全員がバスに乗車して校外学習に出かけました。あいにくの雨天のため、長者ヶ原考古館→根知の渡辺酒造店+フォッサマグナパーク(車窓より)→ヒーリングガーデンたかなみ(昼食)→フォッサマグナミュージアムのコースでの活動でした。学習を通して、ふるさと糸魚川の自然や歴史、文化に興味や関心をもつことができました。また、様々な公共施設をみんなが気持ちよく利用するためにマナーを守って活動することができました。



小学部の児童は、相撲教室の当日まで他の学習(図画工作)と関連させながら日々の学習を進めていました。中学部の生徒は、訪問先の調べ学習を行ったり、トイレやバス内でのマナーなども学んだりしました。学校では、授業での学びを、実際に講師をお呼びして体験することや地域の中で実践することを通して、ふるさと糸魚川の良さ等を知ることを大切にしています。

明日から長い夏休みとなります。家庭での子どもたちの活躍の場としてお手伝い等での元気な挨拶や返事をご指導いただくことにご協力ください。また、地域のお祭りや行事などが実施されると思われます。自分たちが暮らす糸魚川を知る良い機会です。保護者の皆様はご多用と存じますが、長期休みでしかできない体験や活動をお子さんと実施いただきますようお願いいたします。



わひわひタイム 糸小との交流



ひすいの里総合学校と糸魚川小学校とは、年間を通じて様々な交流を実施しています。その一つとして昼休みに何度か、糸魚川小学校の児童とひすいの里総合の児童と一緒に、交流をしました。一緒に絵をかくたり、びっくりおもちゃやドミノをしたりしました。同じ校舎で過ごす友達として、互いに様々な機会を見つけて直接的・間接的に関わる場面を設定してまいります。



楽しんだ!楽しませた! 小・夏まつり

7月5日(金)に、小学部の夏まつりを開催しました。楽しいお店として、児童は「はっけよい(とんとん相撲)」「つりつりや(何でもつり)」「よーいどん(的当て)」に分かれてやりました。中学部の生徒や職員が参加しました。また、小学部では糸魚川小学校の友達を招待して、それぞれのお店での活動を楽しんでもらいました。この活動はただ楽しむだけでなく、招待状や看板の作成から運営までを児童が行い、当日も案内係や受付、道具の準備など役割を全員で分担しました。それぞれが任された仕事に一生懸命に取り組み、来場者を楽しませていました。今回は、小学部児童の頑張っている姿を紹介します。



暑さを吹き飛ばせ!～水泳・水遊び～



7月に入り、水泳・水遊びが、気温が低かったり雷注意報が出ていたりして実施できない日もありました。しかし、実施日には、児童生徒は糸小のプール等で泳いだり水の感触を楽しんだりしました。



Ⅰ学期間ご協力ありがとうございました。